

【学校教育目標】	《重点努力目標》
持続可能な社会を担う 柔軟で心強き 生徒の育成	基礎的・基本的な学習内容の定着を図り、学力の向上に努める。



【研究主題】
ICT 機器を活用した学力の定着と向上を目指して ～タブレット端末の活用・家庭学習の充実と支援を要する生徒への理解～
《研究で目指す生徒の姿》
自ら学び、周りと手を取り合いながら学力の向上に向けて粘り強く取り組む生徒



【具体的な取組と目標】	
今年度も継続して取り組む事項	今年度全校で重点的に取り組む事項
【昨年度からの継続テーマ】 ・前時または本時の学習内容の定着を図るために、確認テストの随時実施 ・各学年による計画的、継続的な家庭学習の実践 ・ユニバーサルデザインの視点を取り入れた授業改善 【長崎県授業改善メソッド】 ・「めあて（課題）」と「まとめ」が子どもに届く授業 【学びの習慣化メソッド】 ・授業と授業外の学びをつなぐ授業づくり →キュビナや家庭学習の活用 【三和中生徒会の取組】 ・3分前着席、2分前黙想、1分間復習の徹底	① I C T機器の効果的な活用について ・タブレット端末の有効活用の推進 (指導記録簿にタブレット端末の使用を記入する。 ・学習活動での PC、タブレットなどの ICT 機器の活用⇒ ◎目標50%以上 (ほぼ毎日・週3回以上の回答) ②特別支援教育の充実 ・特別支援教育への理解力向上、研修会の実施 ・手立て、支援の方法の検討（合理的配慮、教室掲示の統一等） ・わかる授業づくり ③家庭学習の充実 ・生徒会とのタイアップ ・学校全体での方針の統一 ・学校外での平日の家庭学習時間1時間以上を80%達成に向けての取組 ・タブレット端末の活用（①と連携）キュビナコンテストの実施 ④その他 ・公開授業：経年研修等での研究授業を中心に実施 ・協働型学力向上プロジェクト(旧協働型計画訪問)とのかかわり

学力調査(全国・県・市)の結果等から、本校生徒に「身に付けさせたい力」及び「対策」		
国語	社会	数学
（身に付けさせたい力） ○学習の基礎基本となる漢字や語彙の知識 ○相手や場合に應じて的確に考えを伝えることができる力（話す力・書く力） ○文章を正確に読み取る力	（身に付けさせたい力） ○持続可能な社会の実現に向けた課題に対して自分事として捉え、その解決に向けて具体的に考える力 ○自分と異なる意見を尊重し、多角的な見方ができる力 ○知識を定着させるとともに、自らのことばで表現し、社会参画へ生かそうとする態度	（身に付けさせたい力） ○数学用語に関する知識・理解 ○計算等の基礎基本に関する力 ○数学の課題について、自分の考えを述べたり、説明したりする力
（対策） ○補助発問やヒントの提示 ○指示の視覚化 ○教材を精選し「話す」「書く」場を設定 ○小テストやQubena等を活用した反復学習（Qubenaは主に文法、古典で活用） ○「話す」「書く」の自己評価と相互評価の実施（ICT機器・評価表の活用）	（対策） ○「問い」を学級全員で共有 例「北海道民は生活するのに困難な自然環境とどのように向き合ってきたのか。」「日本が第二次世界大戦に参戦してしまったのはなぜか。」 ○1つの授業で最低でも2回の「対話的な学び」を行う場面の設定 ○ICTの活用を通して「個別最適な学び」を具現化（調べ学習・プレゼン作成・Qubena等）	（対策） ○問題演習や章ごとの確認時などでQubenaを積極的に活用し、問題演習を多く行う。 ○発表時や話し合いを行う前に、ノート等に自分の考えをまとめる時間をとる。 ○根拠を明確にしながら、自分の考えを伝えあう機会を章ごとに1回は設定する。
理科	音楽	美術
（身に付けさせたい力） ○自ら課題を見だし、見通しを持って観察・実験を計画・実行する力 ○科学的な言葉や図表を正しく用い、自分の考えを分かりやすく伝える力 ○結果に基づき、根拠をもって論理的に考察する力	（身に付けさせたい力） ○楽譜などに関する基礎的な知識を身に付け音楽活動の中で活用する力 ○音楽を批評する活動から多様な価値を理解する力	（身に付けさせたい力） ○表現方法を創意工夫し、創造的に表す力 ○主題を生み出し豊かに発想し構想を練る力 ○感性を豊かにし、心豊かな生活を創造していく態度
（対策） ○生徒に身近な題材を用いた、疑問を抱かせやすい導入を行う。 ○ICT活用を通して、実験・観察において、自ら予想・考察する場面、周りの生徒と議論する場面の設定 ○見方・考え方カードを活用し、課題に取り組みやすい環境をつくる。	（対策） ○リズム聴取の学習活動を設定し、期末テストで評価を行う。 ○音楽活動の際に、身に付けた読譜の力を活用する場面を設定する。 ○合唱の改善点を検討したり、鑑賞の楽曲理解をしたりする場面で意見を交換する活動を設定する。	（対策） ○色の知識や彩色の技能などの基礎的な表現技能を確実に習得させる。 ○表現と鑑賞の学習をバランスよく配置し、表現することと感じとることを効果的に関連させた学習を進める。 ○作品制作を通して根気強さや集中力、達成感や美しいものを感じ取る心を養う。
保健体育	技術・家庭	英語
（身に付けさせたい力） ○技能の習得に向けて自ら考え行動する力 ○技能の習得方法を試行し計画する力 ○「する・見る・支える」を通して運動に親しむ力	（身に付けさせたい力） ○基礎的な知識及び技能、また自身の取組を評価、選択、管理・運用、改良できる力 ○より良い生活の実現に向けて、工夫し創造できる実践的な態度	（身に付けさせたい力） ○学習の基礎基本となる語彙力 ○英語の基本的な文法を理解し、簡単な語句や文を用いて表現する力
（対策） ○「できた」喜びを大切に、達成感を感じる授業づくりを行う。 ○1年で計画し体力向上を「見える化」して実施する。 ○協働学習に力を入れ、「する」の他の関わり方を学び、学習に取り入れる。	（対策） ○ワークシートと授業内容、教科書の関連を図り、知識の定着を図る。 ○小テストを定期的実施し、基礎・基本の定着を図る。 ○単元のまとめで、振り返らせ確実な定着を図る。 ○授業では、より良い生活を営むために学習の見通しをもたせる。 ○ICTを活用し視覚的にわかりやすい授業実践を行い、1人1台端末の活用を通して協働的な学びを推進する。	（対策） ○小テストを定期的実施し、基礎・基本の定着を図る。 ○英語学習アプリ「Terra Talk」を宿題などで活用し、英語力向上を図る。